

一般社団法人和食文化国民会議 令和2年度 第1回普及・啓発部会議事録

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からWEBによる講演会を企画した。

過去の講演会は、会場において講演会・部会報告・懇親会をリアルで実施していたが、今回は会員の方の安全を第一に考え、11月24日「和食の日」に向けて、WEBを使用し広く一般に向けて配信する講演会とした。

和食会議正会員及び賛助会員については、11月19日（木）にメールで先行案内し、視聴をお願いした。

一般の方へは、11月23日（月）に読売新聞朝刊に講演内容についての記事を掲載し広く一般に案内した。

例年、部会開催時に担当者より報告される普及・啓発部会の事業計画及び、その進捗状況については、11月5日（木）に和食会議正会員及び賛助会員へ発送した部会講演会案内資料の裏面に記載し報告に代えさせていただいた（11月19日（木）に正会員及び賛助会員へ向けた講演会案内メールにおいても添付資料にて報告した）。

1. YouTube 講演会「今に生かす和食」 熊倉功夫氏

2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録された。

11月24日の「和食の日」に合わせ、一般社団法人和食文化国民会議の名誉会長であり、MIHO MUSEUM 館長である熊倉功夫氏による「今に生かす和食」のWEB講演をYouTubeで配信した。

講演については、YouTubeに掲載している。アドレスは以下の通りである。

<https://youtu.be/yzOHJohKjr0>

2. 普及・啓発部会 事業報告及びその進捗状況

(1) 会員及び一般に向けた普及・啓発活動の推進

- ・会員に向けて年2回の部会および講演会を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からリアルな部会・講演会は中止し、11月24日「和食の日」に向けて、熊倉功夫氏による講演を配信した。
- ・「五節供に和食献立を！」キャンペーンを通じて、子どもたち、その家族への「五節供」の啓発を行う。

(2) 「だしで味わう和食の日」企画20,000校に挑戦

- ・今年度より、文部科学省・農林水産省後援名義に加え、新たに厚生労働省の後援名義を取得した。
- ・今年度の参加数は、約12,400校 286万人（昨年度9,498校 228万人）の子どもたちが本企画に参加し、和食に触れる機会となった。

(3) 出前授業希望校と会員講師のマッチング

- ・「だしで味わう和食の日」企画の一環として、学校等からの出前授業希望を会員講師に斡旋する。登録の講座数は27講座となった。企業・団体・個人会員及び事務局等による出前授業は、前半は新型コロナウイルスの影響を受け、前半約20回の授業が中止となったが8月後半から授業が開始され、約50回（昨年度90回）の授業を予定している。
- ・今年度も東京都オリンピック・パラリンピック教育に参加登録し、和食文化のすばらしさを子どもたちが自信を持って語れるように授業を実施する。

(4) 広く、国民に対して和食文化の魅力を発信

- ・国や自治体、民間が開催する行事、展示会への参加等、単独あるいは他の組織と連携した普及・啓発活動を行う。今年度前半は、食育推進全国大会・霞が関子ども見学デー・ジャパンハーヴェストなど、リアルなイベントは中止となった。後半からは、WEBを使用したイベントへの参加を予定している。

以上